

防災コーナーでの取り組み

《自分でつくる津波避難マップ》作成コーナー

3月に全戸にお配りした、弥富市津波ハザードマップの中の「自分で作る津波避難マップ」の啓発を行いました。自宅から最寄りの避難場所までの経路を記入していただき、ご家庭や避難訓練などに役立てていただけるようPRを行いました。



作成いただいた方や持参いただいた方の中のマップを一部ご紹介します。

弥生学区のニックネーム「典ちゃん」さんにご自分で見やすく拡大したマップを持参いただきました。自宅から避難場所までの避難経路が分かりやすく記入してあります。

皆さんもぜひ参考にいただき、このように自分だけの津波避難マップを作ってみてください。



消防団啓発活動

「ちびっこ消防団」コーナー

市消防団では、第6分団、第7分団の消防用車両を展示し、子ども用防火衣を着用して写真撮影会を開催しました。また、春まつりのステージで鈴木団長以下16名の分団長が消防団をPRしました。



平成
30年度

弥富市自主防災会全体会 防災講演 参加者募集

今回は新井 伸夫名古屋大学特任教授が要配慮者をテーマに防災講演を行います。自主防災会の方のみではなく、一般の方もぜひご参加ください。

※各自主防災会には別途案内を送付します。

▼と き 7月8日(日)第一部「防災講演」午前10時～11時10分
第二部「平成30年度の自主防災会について」【自主防災会対象】
午前11時20分～正午

▼と ころ 十四山スポーツセンター 第2アリーナ

▼申込方法 市ホームページから申込用紙を印刷していただき、市役所危機管理課まで持参またはFAXでお申し込みください。

▼申込期限 6月29日(金)

申・問 市役所危機管理課(内線 365)

FAX 52-3276

特集

いざというとき頼りになる消防団

(敬称略)

当市の消防団長以下副団長、各分団長を紹介します。

消防団は、市内16の分団に分かれ、北部地区7分団、南部地区5分団、東部地区4分団で組織され、地域住民の安全のために活躍しています。



団長
鈴木 良明



副団長(北部)
宇佐美 友昭



副団長(南部)
黒宮 剛



副団長(東部)
佐藤 直哉

団長ごあいさつ

平成30年度から弥富市消防団長を務めております、鈴木 良明と申します。日頃より消防団の活動につきまして、ご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、近年は南海トラフ巨大地震やスーパー伊勢湾台風など、大規模災害が予想されます。その中で、消防団の役割は、火災に対する消防活動のみならず、水防活動、防災活動と幅広い活動が求められています。このような災害によるさまざまな被害を最小限におさえるため、市消防団においても、消防活動体制のあり方を検討し、私ども団員一人ひとりが常日頃から災害に関心をもち、有事の際には、落ち着いた適切な行動を取れるよう、訓練をすることが重要であります。毎年のコミュニティでの防災訓練では、市内各所の訓練に消防団が参加し、弥富市の消防・防災の要としての消防団の役割を実感しております。そういった役割をしっかりと担っていけるよう、日頃の訓練に精励したいと考えております。

消防団長 鈴木 良明

弥富市消防団名称および区域

地区別	名称	地域
北部地区	第1分団	楽平、又八、佐古木
	第2分団	前ヶ平、東中地、西中地、鎌倉
	第3分団	荷之上、五之三、五明
	第4分団	海老江、上之割、中之割、下之割、東弥生台団地、中六北
	第5分団	車新田、前新田、小島、弥生台団地、中六南
	第6分団	平島
	第7分団	前ヶ須、中山、川原欠、大藤
南部地区	第8分団	森津、芝井、鎌島
	第9分団	松名、寛延、間崎、稲元、稲吉、加稲、富島、栄南
	第10分団	狐地、稲狐、三稲
	第11分団	稻荷、操出、西末広、東末広、大谷、駒野、上野、楠
	第12分団	三好、稻荷崎、境、中原、鍋田、富浜、曙
東部地区	第13分団	神戸、椋場、鳥ヶ地、子宝、西舘
	第14分団	東舘、四郎兵衛、亀ヶ地、下押萩、上押萩、竹田
	第15分団	五斗山、坂中地、鮫ヶ地、馬ヶ地
	第16分団	堤蛇ヶ江、大山、鍋平、三百島



第1分団長
平野 翔



第2分団長
大野 敬太



第3分団長
村瀬 公一



第4分団長
宇佐美 徹



第5分団長
伊藤 克俊



第6分団長
山本 英志



第7分団長
佐藤 正典



第8分団長
加藤 雄大



第9分団長
秦 稜



第10分団長
栗元 善行



第11分団長
荒川 将宏



第12分団長
木村 考宏



第13分団長
貝沼 卓耶



第14分団長
大山 巧



第15分団長
平野 幹尚



第16分団長
村井 良太